

手賀沼ガシヤモク通信

No. 5

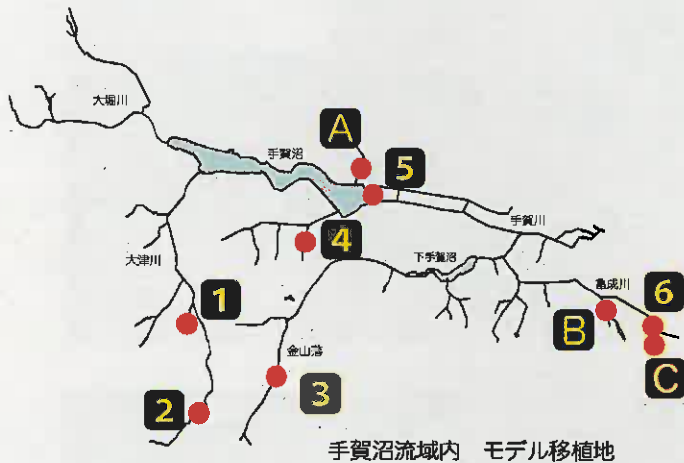
手賀沼流域 沈水植物モデル移植の結果

ガシヤモク里親制度・流域小中学校への苗配布増殖事業などで増やした沈水植物を、手賀沼流域に移植し水生植物を再生させる取り組みが始動している。平成 21 年度に移植をはじめるとを旨とし、平成 20 年度にはモデル移植として試験的な移植がなされた。

下図表は、平成 20 年度のモデル移植地の位置図および各地点の概要。数多くの候補地から河川管理上の問題を踏まえ水生植物再生検討会にて選定したものの。

2009 (平成 21) 年 1 月 29 日 (木) に「手賀沼水環境保全協議会」の「水生植物再生検討会ワーキング」が手賀沼親水広場水の館において開催された。同会において各モデル移植地の結果報告がなされた。その結果、柏市鷲野谷地区の水路(4)が移植候補地として最有力であると選定された。

今後、柏市鷲野谷地区の管理者等と協議を進め、平成 21 年度の移植事業に向け準備を進めることが提案され、手水協の水生植物再生検討会に諮ることとなった。



手賀沼流域内 沈水植物モデル移植地			
No.	地名	近隣施設	環境
1	柏市高柳	沼南幼稚園	流水
2	鎌ヶ谷市粟野	鎌ヶ谷市立第三中学校	流水
3	白井市西白井	西白井富塚公園	止水
4	柏市鷲野谷	藤ヶ谷カントリークラブ	流水
5	我孫子市曙橋	手賀沼フィッシングセンター	流水
6	本埜村滝	亀成川最上流部	流水
A	我孫子市都部	中央学院高校	流水
B	印西市別所	習志野カントリークラブ	流水
C	印西市小林	牧ノ原公園	止水

「水生植物再生検討会ワーキング」において報告されたモデル移植地の結果抜粋

1 柏市高柳

農地の中を流れる土水路で降雨時の増水が著しく水量変動が大きい。水質は良好ながら、左岸畑地から傷んだ作物が放棄され異臭を放つなど岸边環境は悪い。土手から水際までの高低差が大きく、夏場は草が生い茂っており、水辺に降りにくい。



2008.10.27 増水で倒れたマコモと流れ着いたゴミ

2 鎌ヶ谷市粟野

水質良好で水量豊かながら降雨時の増水が著しく水量変動が大きい。オオカナダモが繁茂している。オオカナダモをかき分けて移植株を探す必要あり。オオカナダモと共存できる流水性のササバモならば定着の可能性あり。



3 白井市西白井

投入した株の定着は認められなかった。スクリミングガイ（ジャンボタニシ）による食害の可能性もあり。止水環境なので、素焼き鉢などに植えて同鉢を沈める方法を試すことが可能か。



4 柏市 鷺野谷

水量は年間を通じ安定。透明度も高い。植栽した株は、葉に泥が積もってしまう点が心配。ヤナギモは葉に付着する泥の量が少ないため最も元気に見える。

流水環境のためガシャモクには不適の可能性あり。ヤナギモとササバモを定着させることを目指したい。

圃場整備などで土水路の改修がある可能性があるため確認が必要。



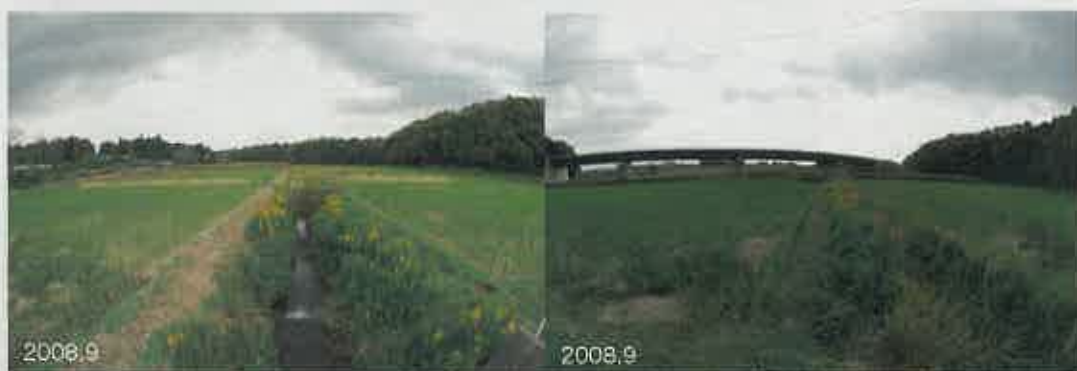
5 我孫子市曙橋

水量変動が少なく非灌漑期には水の流動が少ない。オオカナダモ、マツモ、ホザキノフサモ、エビモの生育が確認された。移植したガシャモクとヤナギモは消失した。アメリカザリガニの姿があるが、沈水植物が生残していること興味深い。



6 本埜村滝

移植株は全て消失したが、亀成川下流部の河川拡幅改修工事の現場に流れ着いていること確認。ここは平成21年度に大規模な河川拡幅工事があるため移植不能と判明。景観が大きく変容してしまう。



A 我孫子市都部

我孫子市が植栽を開始してササバモは3年目、ガシャモク・ヤナギモ・ホザキノフサモ・エビモは2年目。

ガシャモクは2007年7月に植栽したものが、株を大きくして生育中。ただし、葉は黒くなり痛んでいて状態は良くない。

ササバモ・ヤナギモ・ホザキノフサモ・エビモは群落を作って生育。ヤナギモ・ホザキノフサモは下流のコンクリ水路部へ生育域を徐々に拡大している。

コンクリ水路部に移植したガシャモクは消失した。上流部の群落から千切れた植物体が流れ着き、定着することが期待できる。



B 印西市別所

古新田川は、流路の左右に仮設流路を造成し、本来の河川筋は完全に埋められた。このため同地に生育していたヤナギモ・ササバモ生育地は失われてしまった。

さらに、亀成川上流部の本モデル植栽地区6番：本埜村滝地区も同様の河川拡幅工事が平成21年度に予定されている。

これらの工事により手賀沼流域で最も生物多様性の高かった亀成川最上流部の環境が激変してしまう。千葉県立中央博物館にて同地の生物相の変化を調査記録している。



2008.9



2008.10



2008.11



2008.11



2008.12



2008.11

C 印西市小林

リュウノヒゲモの群落調整池一面を覆い尽くしており、県内最大の生育地と考えられる。釣り人のボートで群落に航路が見取れる。早急な保全対策が望まれる。



2008.10

2008.10

この「手賀沼ガシャモク通信 5号」は、「手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会」の会報「手賀沼マシジミ・ガシャモクだより」56号、57号から記事を一部抜粋して編集しています。

手賀沼ガシャモク通信 No. 5

平成21年3月10日発行

手賀沼水環境保全協議会

事務局

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 千葉県環境生活部水質保全課湖沼浄化対策室

電話：043-223-3821 E-mail：suiho5@mz.pref.chiba.lg.jp